

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
地域づくりの取り組みの特徴・PR	古代における日本の中心的な遺跡群やなだらかに傾斜する地形に沿って等高線を刻む棚田、ゆるやかな山並みに縁取られた農村など、かつての飛鳥京のおもかげをとどめる自然環境や歴史遺産を核にしたまちづくりが官民一体となり展開されている。特に棚田オーナー制度による棚田の活用やボランティア団体による活発な活動が地域の自然環境保全に多大な影響を与えており、地域内外の人々が協力しながら明日香の資源を守り、育てている。							

位置図		ほんまもん資源の概要		
  	独自性	特徴（ほんまもん潜在能力度）	写真・図等	
		資源の歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ■古代における日本の中心的な遺跡群（飛鳥京のおもかげを残す） ■棚田、飛鳥川の水辺、農村・里山（万葉集や古今和歌集に多数詠まれた日本を代表する歴史的景観） 	  
		資源に関連する人物伝	<p>【聖徳太子】 推古天皇の甥で本名は「厩戸皇子」。皇太子、摂政として大王（天皇）中心の政治をめざし、遣隋使派遣、冠位十二階や十七条憲法を制定した。また、四天王寺、法隆寺などを建立した。</p> <p>【天武天皇】 古代史上最大の内乱である壬申の乱に勝利した後、673年2月「飛鳥浄御原宮」で第40代天皇に即位。律令制度の導入を目指して我が国最初の法律「飛鳥浄御原令」を編纂した。</p> <p>【持統天皇】 天智天皇の娘に生まれ、天武天皇の皇后であった。天武天皇没後、自ら皇位を継ぎ第41代天皇となった。小倉百人一首「春すぎて夏來にけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山」は有名。</p> <p>【清少納言】 平安中期の女性文学者で歌人清原元輔の娘。一条帝中宮（のち皇后）定子に仕え、皇后の死とともに宮廷を退き、後に『枕草子』を完成させた。</p>	<p>聖徳太子</p> <p>天武天皇</p> <p>持統天皇</p>
		資源に関連する歴史的な作品	<p>【万葉集】 『飛ぶ鳥の明日香の川上つ瀬に生ふる玉藻は…』『明日香川しがらみ渡し塞かませば進める水ものどにかあらし』他 22首(全25首という説もある)。</p> <p>【日本書紀】 皇極天皇三年の有名な記述に『中大兄、飛鳥寺槐の木の下に蹴鞠するも皮鞋の脱落つるを、中臣鎌足連これを取り置ちて恭みて奉る』という蹴鞠についての記述がある。</p> <p>【古今和歌集】 九三三番『世の中は何か常なる飛鳥川昨日の淵ぞ今日は瀬になる』、六八七番『飛鳥川瀬は瀬になる世なりとも思ひそめてむ人は忘れじ』、他</p> <p>【枕草子】 第一四段『淵は かしこ淵、いかなる底の心を見えて、さる名をつけけんと、いとをかし。ないりその淵、誰にいかなる人の教へしならん。青色の淵こそまたをかしけれ。藏人などの身にしつて。いな淵。かくれの淵。のぞきの淵。玉淵。』</p>	 
		資源に関連する歴史的行事	<p>お田植祭（おんだまつり）、綱掛け祭（男綱・女綱） 他</p>	<p>里山</p> <p>棚田</p>
永続性	保全・継承への取り組み	<p>“指定・選定・認定”等の登録、棚田の維持保全：棚田ルネッサンス、明日香の景観維持：古都保存法（全域）、「明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法（明日香法）」、景観ボランティア明日香、稲淵地区棚田ルネッサンス実行委員会 他</p>	 	
流通性	マスメディア登場経歴	<p>NHK 各種番組 日めくり万葉集 他多数</p>	<p>石舞台古墳</p> <p>飛鳥川</p>	
希少性	明確な特徴	<p>かつての飛鳥京のおもかげを千数百年の時を超えてとどめる地域である点。 ゆるやかな山並みに縁取られた農村で、谷あり川ありの里山である。なだらかに傾斜する地形に沿って等高線を刻む棚田は奥行きのある景観を醸している。</p>	 	
	地域限定	<ul style="list-style-type: none"> ■なだらかに傾斜する地形に沿って等高線を刻む棚田（国内において他に例を見ない農村・里山風景を有する。清少納言枕草子『淵は稲淵』の記述あり。） ■飛鳥京のおもかげ（古代における日本の中心的な遺跡群） ■万葉集や日本書紀にうたわれた清流を蘇らせようとする水辺（飛鳥川） 	<p>石造物</p> <p>遺跡</p>	

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
にほんの里 100 選、日本の棚田百選、農村景観百選、米づくり 100 選、ふるさといきもの里 100 選、国指定史跡、国指定特定史跡、文化財保護法による指定文化財、明日香村文化指定財、奈良県指定文化財、国営飛鳥歴史公園、日本風景街道まほろば、財団法人農村開発企画委員会 優良賞（平成 10 年度）、第 3 回石井進記念棚田学会賞（平成 18 年度）								

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 景観ボランティア明日香 【活動目標】 ■日本人の心のふるさと明日香村の景観を守るための活動を、地元の方と協力しながら楽しく行い、「生き生きと美しい明日香」創出に寄与することを目的とする。	【実施事業・取り組み】 ■古代植生の復元（竹林伐採、地拵え、植林、山百合植栽など）、竹細工、地元食材による食体験と交流 ■除草、清掃、歩道整備、木工細工 ■参道沿いの除草・除伐、古橋の改修、道標の新設、鳥居の建て替え ■稲渚地区飛鳥川上流の整備と清掃（2007 年夏） ■上居地区山桜の植栽作業の完成（2007 年秋） ■飛鳥川の繁茂した葦や葛の刈り取りと清掃活動（2008 年夏） ■稲渚地区飛鳥川の保全と清掃（2008 年秋） ■2005 年度：収入（会費 570 千円、民間助成金 413 千円、行政助成金 350 千円、寄付 100 千円）支出（活動事業費 1,310 千円、事務管理費 123 千円） 【今後の実施事業】 ■雑草の刈り取り・川辺の整備、環境保全 ■2004 年の日帰り活動で整備した稲渚地区飛鳥川のメンテナンス	【取り組みの推進体制】 ■景観ボランティアは 40 名中 10 名が関東在住。 ■明日香大好きという景観ボランティアが年に 3 回活動を行っている。 ■里山の草刈、植樹、飛鳥川の草刈など。2 泊 3 日の行程で自己負担で来る。 ■景観ボランティアは、地元と交流しながら作業をする。来てもらったら史跡紹介をする。 ■最近では、企業の CSR 活動として、竹林整備や荒廃農地の景観形成、果樹栽培を行ったりという活動が出てきた。4 企業ほどある。企業の社会貢献が、世界のランキングの大きなウェイトを占めてきている。竹林整備で出た竹は、竹炭や竹酢液などに加工して販売している。 ■行政としては、活動をされる企業に呼びかけをしている。森林組合とタイアップをして、一緒にやるというスタイルをとっている。 ■作業だけでは面白みがないので、福利厚生会場として、屋台を並べたり、レクリエーションの場となったり。家族ぐるみで、地元集落と一緒に活動したりしている。

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 NPO 法人 ASUKA 自然塾 【活動目標】 ■青少年や社会人に対して地域の自然環境の保護・保全・復旧を図る活動、まちづくりの推進を図る活動、国際協力の活動、子どもの健全育成を図る活動などの環境教育の推進を図るための事業を行い広く持続可能な社会の建設に寄与することを目的とする。	【事業実績・取り組み】 ■社会教育の推進を図る活動 ■まちづくりの推進を図る活動 ■環境の保全を図る活動 ■国際協力の活動 ■子どもの健全育成を図る活動 ■前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助活動 ■カワニナ調査 ■川の調査 ■ホテル観察会 ■ホテルの絵本づくり ■2007 年度：収入（会費 32 千円、行政助成金 305 千円）支出（活動事業費 666 千円） 【今後の実施事業】 ■アースデイの参加 ■むし祭りの参加 ■自然観察会の開催 ■カワニナの生態調査 ■飛鳥川の歴史的景観の保全と復旧活動 ■飛鳥川上流域の生物保護と復旧活動	

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
								にほんの里 100 選、日本の棚田百選、農村景観百選、米づくり 100 選、ふるさといきもの里 100 選、国指定史跡、国指定特定史跡、文化財保護法による指定文化財、明日香村文化指定財、奈良県指定文化財、国営飛鳥歴史公園、日本風景街道まほろば、財団法人農村開発企画委員会 優良賞（平成 10 年度）、第 3 回石井進記念棚田学会賞（平成 18 年度）

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 稲渕地区棚田ルネッサンス実行委員会</p> <p>【活動目標】 ■田園を守り、育て、新たな魅力の創造をめざすもの。会の名称には棚田も貴重な文化遺産であることを認識し、都市住民とそれを共有することで新しい稲渕の文化を創設するという意味がある。</p>	<p>【実施事業・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■棚田オーナー制により、都市住民への呼びかけを行ない、実行委員会はオーナーの組織であるオーナー会と連携して、イベントの企画や活動にあたっている。 ■オーナーは、地元農家の指導のもとすべて農作業を行なっていたが、徐々に農作業だけでは飽き足らなくなり、より自然と親しむことを求めたオーナー会の発案によりイベントが始まった。 ■これまでとは逆に、オーナーが企画し地元が協力する体制も形成されつつある。 ■オーナーによる農作業体験は、契約水田での作業にとどまらず、近隣の荒廃地の草刈りや災害復旧活動にまで広がりを見せ、きれいに刈り込まれた棚田の畦畔は、その美しさを取り戻した。 ■春には「恋華まつり」、夏には「螢のゆうべ」、秋には「彼岸花まつり」など。 ■稲作体験（田植え、稲刈り） ■かかしコンテスト ■委員会による活動は、自然に対する関心の喚起や伝統文化継承の機運の高揚、他地区でのオーナー制の開始などの波及効果をもたらしている。 	<p>【取り組みの推進体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成 7 年に実行委員会を立ち上げ、平成 8 年に棚田オーナー制度をスタート。 ■田んぼの普段の管理は、地元の方がインストラクターで行う。インストラクターは 20 人程。稲渕集落の中で、やってもいいという方を募ってやっている。インストラクターの普段の仕事は、農家、サラリーマンなど。大体 60~70 代が中心。 ■1 区画 1 オーナーで、インストラクターとしての報酬を会費の中から分配する。 ■田んぼコースは 78 区画あり、新米 40 キロを保証。トラストコースはススキづくり等の農作業体験をするもので、新米 30 キロを保証している。 ■田んぼコースが年間 4 万円、トラストコース 3 万円。はたけコースは、花とか、収穫物は自分のものになる。 ■村が P R にかかる経費を支援している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■インストラクターの高齢化が課題となっている。オーナーの方でインストラクターをしたいという人はまだ、出てきていない。耕作者がインストラクターをできるような年齢になってはきている。 ■オーナーの駐車場が不足している。古都保存法の関係で、施設に付随した駐車場ならできるが、単体の駐車場は整備できない。 ■農地面積が狭く、畦が高いため、風水害で畦畔の崩壊が起きる。その農地災害の復旧工事の際、自然工法でやりたいが、災害の査定官が認めてくれないため、それができない。そのため、見目がつぎはぎのようになり、苦情が出る。 ■古都保存法の規制がかかり、全域が都市計画区域であるため、作業小屋であっても瓦葺や 4 m 道路への接道が求められる。

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

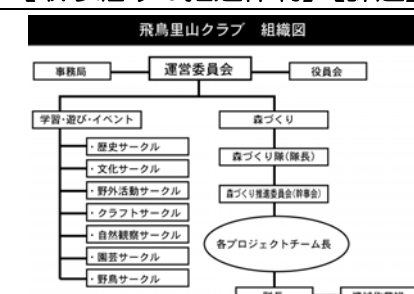
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 飛鳥川の原風景を取り戻す仲間の会</p> <p>【活動目標】 ■飛鳥川の源流のひとつである女淵(めぶち)を昭和初期の姿（ツツジが兩岸を埋め、ヤマユリやササユリ、フジの花が咲いている）、明日香村の原風景に戻すこと、荒れた谷を美しく蘇らせることを目的とする。</p>	<p>【実施事業・取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成 19 年度まで飛鳥川「女淵の滝」下流 1 km の川筋の整備を行いつつ、ヤマザクラ・ササユリ・フジの植林なども実施してきた。 ■下草刈り・笹刈り・除伐・間伐・植栽などの森林作業を行っている。活動には指導者がつくので誰でも参加できる。 ■参加者には、間伐材で作った地域通貨エコマネー「あすか」を作業の報酬として参加者に手渡し、地元農産物と交換できる。 	

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 大化塾 【活動目標】 「将来の活力に満ちた魅力ある村づくり」に向けた意見交換や議論・提言・行動を行える熱意と豊かな発想をもったリーダーの養成を目的とする。 ■様々な「いっしょに」で運営しましょ ■無理なく、楽しい活動 ■小さな達成感を積み重ねましょう ■出来ることから始めましょう ■新しい当たり前をつくりましょう	【実施事業・取り組み】 ■イベント：飛鳥の宵・大化の宴、盆踊り、光の回廊 ■研修・交流活動 ■情報発信：村広報誌掲載（入会、イベント告知）、村のHPへの掲載、ブログなど	【取り組みの推進体制】 ■平成 5 年 6 月「村民による村づくり」を考えるための勉強会として設立され、会員数は 33 人。 ■毎月定例会を村内各所で持ち、村の魅力を自分の目で確かめ体感し、話し合いを通して、各自の思考と感性を高める様にしている。 ■飛鳥の自然・歴史・文化などを再度みつめ直すことで、村民としての誇りを、その上で、村の活性化が如何にあるべきかをさぐる。国民的財産としての飛鳥の遺跡は凍結的保存から、創造的活用へと時代の変化が見られる。そのため、地元住民のセンスが注目されている。定例会は村内の遺跡や社寺を見学し、古い民家や村内諸施設を訪ね、そこで関係者の話も伺う。また村外実情視察も行っている。（予算の関係で年 1 回）年度末には報告書を作成し、塾生の考え方を提言する。

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 飛鳥京観光協会 【活動目標】 物から心へと人々の意識が変化する中で、観光においても文化性や地域のふれあいが求められ、歴史と文化のかおり高い村づくりを官民一体となって、積極的な推進を図る。	【実施事業・取り組み】 ■観光ボランティアガイド活動 年間依頼 800 回、その他に定点ガイドも実施。 ■古代ガラス復元インストラクター活動 「飛鳥池遺跡」により出土したガラス玉を復元し、技法を継承する。月一度、学習会及び体験会開催。 ■劇団「時空」明日香の魅力をより深く知り、その素晴らしさを伝えていく為に手作りの劇を作り上げている。 ■イメージアップ・マナーアップ事業観光施設及び案内看板等の巡視点検及び、クリーンアップの啓発、観光マナーの指導に努める。	【取り組みの推進体制】 ■平成 6 年 7 月に発足し、現在会員は 528 人。 ■観光ボランティアガイド活動は平成 9 年から始まっており、ガイドは現在 38 名いる。38 名中 15～6 名が村内、その他は村外。非常に依頼が多い。 ■ガイドの第 4 期生を募集したところ 17 名応募があった。 ■明日香の歴史は非常に難しく、月 1 回勉強会を実施している。 ■当初からガイドをされている方は情報レベルが高く、図面をどこかで仕入れてきて、分かりやすいガイドをする。 ■経験が浅いガイドさんには、知らないことは知らないというよう教育している。

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 明日香村観光開発公社 【活動目標】 ■観光交流活性化事業実行委員会として活動	【実施事業・取り組み】 ■観月会 ■飛鳥「光の回廊」 ■彼岸花まつり	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 飛鳥里山クラブ 【活動目標】 ■飛鳥に育まれた里山の自然・歴史的風土のなかで、自然観察、クラフト、ハイキングなどを通して自然や歴史について楽しく学び、時には里山を美しく保つために汗を流すなど、里山の魅力をたっぷり楽しむ	【実施事業・取り組み】 ■地域での野外活動、歴史探索、野鳥観察、自然観察、森づくり、クラフト、講座	【取り組みの推進体制】  <p>飛鳥里山クラブ 組織図</p> <pre> graph TD 事務局 --- 運営委員会 事務局 --- 役員会 運営委員会 --- 字野・遊びイベント 運営委員会 --- 森づくり 字野・遊びイベント --- 歴史サークル 字野・遊びイベント --- 文化サークル 字野・遊びイベント --- 野外活動サークル 字野・遊びイベント --- クラフトサークル 字野・遊びイベント --- 自然観察サークル 字野・遊びイベント --- 薬草サークル 字野・遊びイベント --- 野鳥サークル 森づくり --- 森づくり隊(隊長) 森づくり --- 森づくり推進委員会(幹事) 森づくり --- 各プロジェクトチーム長 森づくり --- 隊長 森づくり --- 機械作業班 </pre>

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
								にほんの里 100 選、日本の棚田百選、農村景観百選、米づくり 100 選、ふるさといきもの里 100 選、国指定史跡、国指定特定史跡、文化財保護法による指定文化財、明日香村文化指定財、奈良県指定文化財、国営飛鳥歴史公園、日本風景街道まほろば、財団法人農村開発企画委員会 優良賞（平成 10 年度）、第 3 回石井進記念棚田学会賞（平成 18 年度）

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 明日香村伝承芸能保存会 【活動目標】 ■南無天踊り・八雲琴・飛鳥蹴鞠・万葉朗唱等古事記、日本書紀の時代より受け継がれてきた伝統芸能を復元し、継承に取り組む	【実施事業・取り組み】 ■伝統的な芸能を見学・体験してもらう活動	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 明日香村地域振興公社 【活動目標】 ■地域資源の有効活用による農業の振興地域経済の発展と豊かでゆとりのある村づくり歴史的風土の保全	【実施事業・取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ■農地保有合理化事業 ■古都保存買上げ土地の維持管理と活用事業 ■田園景観と調和した農業の構造改善・基盤整備の推進 ■地域特産品の開発と販路開拓等に関する事業 ■都市生活者等との交流促進及び情報発信に関する事業 ■農作業受委託推進事業 ■農業機械及び施設の共同利用推進事業 ■森林施業の推進に関する事業 ■明日香村農林産物等交流促進施設の管理受託に関する事業 	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 明日香村文化協会 【活動目標】 ■明日香村を拠点に活躍している美術家の紹介	【実施事業・取り組み】 ■明日香村を拠点に活躍している美術家をHP等で紹介する	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 飛鳥保存財団 【活動目標】 ■飛鳥地方の歴史的風土および文化財の保存と活用を図ると共に、地域住民の生活の向上に寄与すること	【実施事業・取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ■飛鳥地方の歴史的風土や文化財の保存と活用を図る事業への助成。 ■前項のための調査研究やその知識の普及。 ■飛鳥の宿「祝戸荘」（研修宿泊所）及び「飛鳥びとの館」飛鳥総合案内所ならびに高松塚壁画館の管理運営。 ■飛鳥地域の方々の住民活動向上に役立つ事業への助成。 ■前各号に関連して政府や関係機関への建議陳情。 ■その他財団目的達成に必要な事業に対する援助。 	【取り組みの推進体制】 ■基金から生ずる果実、寄付金、補助金、会費収入、飛鳥の宿「祝戸荘」（研修宿泊所）、「飛鳥びとの館」飛鳥総合案内所ならびに高松塚壁画館の収入等によって運営

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
								ほんの里 100 選、日本の棚田百選、農村景観百選、米づくり 100 選、ふるさといきもの里 100 選、国指定史跡、国指定特定史跡、文化財保護法による指定文化財、明日香村文化指定財、奈良県指定文化財、国営飛鳥歴史公園、日本風景街道まほろば、財団法人農村開発企画委員会 優良賞（平成 10 年度）、第 3 回石井進記念棚田学会賞（平成 18 年度）

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
【活動団体名称】 にぎわいの街まちづくり実行委員会 【活動目標】 ■地区の景観や歴史、伝統、文化、自然、産業などに配慮し、ゆとりや潤い癒しのある、生活を重視した街なみに形成を図りそこを訪れる来訪者との饗し交流を行うこと	【実施事業・取り組み】 ■明日香をテーマにした万葉集を利用して万葉行灯の光のイベント「万葉のあかり」を行う。 ■地域の歴史、伝統、文化等を再確認し観光材料の掘り起こしを行う。 ■伝統行事の復活に向けた取り組み ■岡地区にあった集落景観統一のための指針づくり	【取り組みの推進体制】 ■岡地区では平成 14 年 11 月に地元住民有志により「にぎわいの街まちづくり委員会準備会」を結成。さらに平成 15 年 5 月には準備会での活動の盛り上がりを受け「にぎわいの街まちづくり実行委員会」へと移行

その他	地域づくりの取り組み活動エリア
<p>【村内の荒廃地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地権者の中で、田んぼの維持管理が出来ない方は、買い上げてもらいたいという人が増えている。すでに県が買い上げて管理しているものが 50 ヘクタールに上る。 ■耕作放棄地の中にも、地元が管理するもの、県が管理（業者発注で花を植えるとか）するもの、地域振興公社が、農作業の請負をやるものなどがあるが、預けたら返してもらおうが大変というイメージがあるようだ。次の借り手を探すことになるが、借り手は少ない。色々やっているが、全体としては、荒廃地が増えていっている。 <p>【空き家対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■中山間集落で空き家が増えてきており、歯抜け状態になっている。農村集落としてのコミュニティの荒廃、農地の荒廃につながっている。 ■それを食い止めるために、この状況を広報したところ、明日香に住みたいということで、数百件くらい問い合わせがきた。しかし制度としてまだ確立できていない。 ■五十数件の空き家が出ており、すべての所有者に意向調査をしている。売ってもいいのか、貸してもいいのか、詳細な調査を実施中である。 ■改修しないと住めないようなものが多い。水周りなどは修繕が必要。古民家などは大きいので、制度としては、改修の負担に対する支援制度がつくれたらと考えている。無利子貸付で、10 年住むという確約をとって、返済してもらおうなどの制度を検討中。 ■希望者の選定は、地域に入り込んで、地域の活動をしていただけるかどうかポイント。地域の奉仕活動、例えば神社の維持をするなど、最低限地域のルールを守っていただけるような人に入っていたらと考えている。 ■地域活動をしていただける、子育て世代の夫婦あたりを前提条件にしたいと思っている。 ■明日香は古都奈良にくらべると、建造物がないので、イメージしにくい。目に見えるものとしては、地下遺構がほとんどであるため、心象風景的なものを少しでも分かっていたら努力が必要と考えている。 ■そのため、歴史学習の場として、CG を使って、かつての姿を伝えたりすることを、東京大学と連携してやっている。天皇が変わるたびにどう変遷していったのかなどは、文字がいくら書いてあっても分からない。どういう都であったのか、位置づけ、役割を果たしてきたのかをまず、国民に知ってもらいたい。 <p>【明日香と飛鳥の違い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■昭和の大合併では、阪合村、高市村、飛鳥村の 3 つが合併した。飛鳥を使うと、縄張り争いが生じるため、昔から使われている明日香村を使うということになった。飛鳥をつかうときは、飛鳥時代、橿原、高取も含めた飛鳥地域の総称として利用している。その象徴が鳳凰になっている。感性で使分けしている。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■明日香ルビーのイチゴ狩りを実施している。1 月～5 月で 3 万人くらいくる。 ■駅前の夢市は年間 2.4 億円売り上げている。原則としてその日の朝取れた野菜が並ぶ。これまでは、公社が村の指定管理者となっていたが、非常に好調で、今年の 4 月からは農地組合法人ふるさと明日香が自主運営することになった。会員数は 310 軒ほどあり、そのうち農家が 270 軒程度。そのうち専業農家は 7 軒。 ■夢市は平成 18 年 4 月にリニューアルオープン。あすか夢販売所は平成 17 年 4 月にリニューアルオープン。 	<p>The map displays several activity routes across the Asuka region, including the Manyo Course (purple), Asuka Course (red), and others. Key landmarks and historical sites are marked, such as the Asuka-dera site, various temples, and archaeological sites. A scale bar indicates distances up to 1000m.</p>

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
								にほんの里 100 選、日本の棚田百選、農村景観百選、米づくり 100 選、ふるさといきもの里 100 選、国指定史跡、国指定特定史跡、文化財保護法による指定文化財、明日香村文化指定財、奈良県指定文化財、国営飛鳥歴史公園、日本風景街道まほろば、財団法人農村開発企画委員会 優良賞（平成 10 年度）、第 3 回石井進記念棚田学会賞（平成 18 年度）

地域づくり取り組み組織・団体等の参考データ			
名称	構成員（従業員）等人数	創業（設立）年	連絡先・HPアドレス等
景観ボランティア明日香	<ul style="list-style-type: none"> ■スタッフ人数：個人 132 人 団体 5 ■代表者：三木健二 ■事務責任者：福田和由 ■事務局：財団法人明日香村地域振興公社（愛称：あすか夢耕社）内 	■2002(平成 14)年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> ■〒634-0112 奈良県高市郡明日香村大字島庄 154-3 (財団法人明日香村地域振興公社(愛称：あすか夢耕社)) ■TEL：0744-54-9200 ■FAX：0744-54-5118 ■http://www.ascva.com/ ■E-mail asuka@yume9200.jp
NPO 法人 ASUKA 自然塾	<ul style="list-style-type: none"> ■スタッフ人数：役員 14 人 ボランティアスタッフ 8 人 ■理事長：石川賢司 ■事務責任者：松村勝弘 	■2007(平成 19)年 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ■〒634-0108 奈良県明日香村雷 366-3 ■TEL：0744-54-2647 ■FAX：0744-54-2627 ■http://blogs.yahoo.co.jp/ishikawakenji1956 ■E-mail ishikawakenji1956@yahoo.co.jp
稲刈地区棚田ルネッサンス実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■地元農家 30 名で構成 ■事務局：財団法人明日香村地域振興公社（愛称：あすか夢耕社）内 	■2007(平成 19)年	<ul style="list-style-type: none"> ■〒634-0112 奈良県高市郡明日香村大字島庄 154-3 (財団法人明日香村地域振興公社(愛称：あすか夢耕社)) ■TEL：0744-54-9200 ■FAX：0744-54-5118 ■E-mail asuka@yume9200.jp
明日香川の原風景を取り戻す仲間の会 ※(財)サンワみどり基金(現(財)U F J 環境財団)から支援を受ける	<ul style="list-style-type: none"> ■会員制度はなく、その日の参加者＝メンバーである。(1 回当たり参加者＝60～100 人程度) ■会長：嶋村清隆 ■事務局長：水谷道子 ■名誉会長は森林文化政策研究会の筒井迪夫氏 	■1999(平成 11)年 11 月	<ul style="list-style-type: none"> ■〒634-0032 奈良県橿原市田中町 647-2 ■http://asuka.cocot.jp/asuka-gawa/index.html ■E-mail hairototoro@asuka.cocot.jp
大化塾	<ul style="list-style-type: none"> ■塾長：吉兼秀夫 ■会員数：33 人 	■平成 5 年 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ■〒634-0111 奈良県高市郡明日香村大字岡 55 番地 ■http://www.asukamura.jp/machidukuri/taikazyuku.html ■TEL：0744-54-2001 ■FAX：0744-54-2440
飛鳥京観光協会	<ul style="list-style-type: none"> ■会員数：528 人 	■平成 6 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ■〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄 5 ■TEL：0744-54-2362・3240 ■FAX：0744-54-2362 ■E-mail info@asukakyo.jp
明日香村観光開発公社	<ul style="list-style-type: none"> ■理事長：関義清 	■1973(昭和 48 年)年 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ■〒634-0111 奈良県高市郡明日香村岡 1 2 2 0 ■http://www.asukanko.or.jp/ ■TEL：0744-54-4577 ■FAX：0744-54-3730 ■E-mail asukanko@sikasenbey.or.jp

明日香村 (奈良県)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	棚田・農園・里山・水辺・遺跡群	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
にほんの里 100 選、日本の棚田百選、農村景観百選、米づくり 100 選、ふるさといきものの里 100 選、国指定史跡、国指定特定史跡、文化財保護法による指定文化財、明日香村文化指定財、奈良県指定文化財、国営飛鳥歴史公園、日本風景街道まほろば、財団法人農村開発企画委員会 優良賞（平成 10 年度）、第 3 回石井進記念棚田学会賞（平成 18 年度）								

地域づくり取り組み組織・団体等の参考データ			
名称	構成員（従業員）等人数	創業（設立）年	連絡先・HPアドレス等
飛鳥里山クラブ	■構成人数：約 200 名		■〒634-0144 奈良県高市郡明日香村大字平田 538 ■http://w2rx34g.asuka-park.go.jp/arekore/volunteer.html ■TEL：0744-54-2441 ■FAX：0744-54-4633
明日香村伝承芸能保存会	■代表者：勝川喜昭		■〒634-0111 奈良県高市郡明日香村大字岡 ■TEL：0744-54-3300 ■FAX：0744-54-3300
明日香村地域振興公社		■平成 10 年 6 月	■奈良県高市郡明日香村大字島庄 154-3 ■http://yume9200.jp/ ■TEL：0744-54-9200 ■FAX：0744-54-5118 ■Emai asuka@yume9200.jp
明日香村文化協会	■代表者：脇田宗孝		
飛鳥保存財団	■代表者：杉平正美	■昭和 46 年 4 月	■〒634-0138 奈良県高市郡明日香村大字越 13-1 ■TEL：0744-54-3338 ■FAX：0744-54-3638 Email info@asukabito.or.jp
にぎわいの街まちづくり実行委員会	■代表者：車井貢	■平成 15 年 5 月	■〒634-0111 奈良県高市郡明日香村大字岡 55 番地 ■TEL：0744-54-2001 ■FAX：0744-54-2440

大阪市 (大阪府)	ほんまもん資源		資源分類					指定・選定・認定等	
	御堂筋		農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
地域づくりの取り組みの特徴・PR	大規模幹線道路の先駆けとなった御堂筋。100年先を見据えてつくられた開放感のある44mの道幅や自然溢れるイチョウ並木道は、大阪のランドマークとして定着している。大阪の「顔」である御堂筋が元気になれば大阪が元気になるを念頭に、御堂筋沿いの民間企業が中心になって、まちの活性化・大阪の活性化に積極的に取り組んでいる。								

位置図		ほんまもん資源の概要			
 <p>大阪市(北区、中央区)</p>		特徴(ほんまもん潜在能力度)		写真・図等	
		独自性	資源の歴史・文化	大阪の近代史を語る中で、さまざまな側面から都市機能を果たしてきており、大阪経済の歴史の足跡を観ることができる お初天神、淀屋橋、適塾、愛珠幼稚園、少彦名神社、御霊神社、北御堂、坐摩神社、南御堂、難波神社、アメリカ村、戎橋、法善寺横丁、法善寺、竹林寺、千日前道具屋筋 等	 <p>第7代大阪市長 関一</p>
			資源に関連する人物伝	第7代大阪市長 関一による「都市大改造計画」のメイン事業として、幅6m、北の淡路町から南の長堀まで約1.3kmの狭く短い「御堂筋」が拡幅され、1937(昭和12)年に完成した	
			資源に関連する歴史的行事	御堂筋 KAPPO (旧・御堂筋パレード) 他	
		永続性	保全・継承への取り組み	“指定・選定・認定”等の登録、御堂筋まちづくりネットワーク、せんばGENKIの会、NPO法人長堀21世紀計画の会、ミナミまち育てネットワーク、中之島・御堂筋SBJ連絡協議会、心斎橋石橋100周年イベント実行委員会 他	 <p>御堂筋(春)</p>  <p>御堂筋(秋)</p>
			流通性	マスメディア登場経歴	
		シンボル性	場所	大阪の中心部であるキタとミナミを南北全長4kmにわたりのびる大阪を代表する道路である。	 <p>適塾</p>  <p>淀屋橋</p>
明確な特徴	100年先を見据えてつくられた大規模幹線道路(大規模幹線道路の先駆け)(開放感のある44mの道幅)(自然溢れるイチョウ並木道)(道路の下に地下鉄)(全長約4kmの直線道路で電線も全て地下に配置)				
希少性	地域限定	幅44mで、その大部分は南行一方通行の6車線。四季折々の変化のある美しさをみせるイチョウ並木や整然と林立するビル群が特徴。沿道ビルの高さは、大正時代の「市街地建築物公布」により100尺(31m)制限がかけられ、整然と揃ったスカイラインの由来となっていたが、「御堂筋沿道建築物の街並み誘導に関する建築指導方針」の制定(平成7年)により、100尺制限が解かれ、淀屋橋～中央大通りまでの区間については50m(条件により60mまで可能)に緩和された。	 <p>北御堂</p>  <p>南御堂</p>		

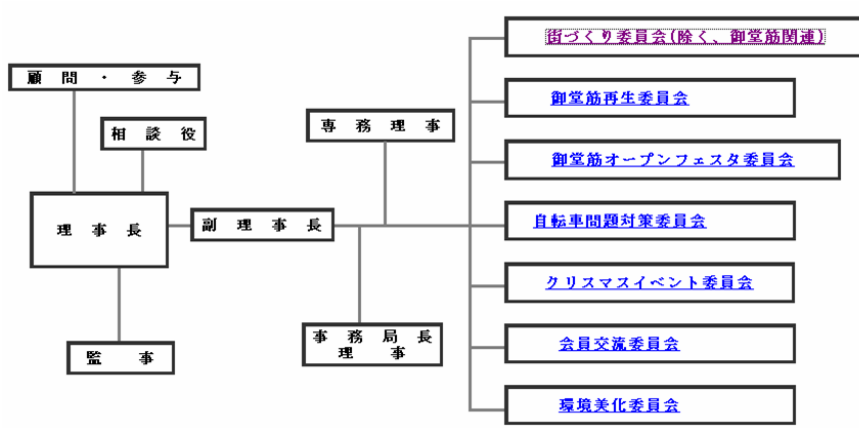
大阪市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類							指定・選定・認定等
	御堂筋	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク	日本の道100選、風景街道(中之島・大川・御堂筋回廊)、大阪府有形文化財(淀屋橋・大江橋)、大阪市指定景観形成物(淀屋橋)、大阪市指定名勝(イチョウ並木)

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 御堂筋まちづくりネットワーク</p> <p>【活動目標】 ■大阪の「顔」である御堂筋が「活力と風格あるビジネス街」として維持発展することを目指し、地元で協調し、地元の視点から御堂筋の課題と改善策を検討し、行政、経済団体等とのパートナーシップを図りつつ、活性化に向けて活動する。 ■運河沿いのプロムナード整備を行い、親水性と回遊性の向上、歴史を活かしたまちの魅力アップを図る。 ■大阪の道のシンボル御堂筋と、水路のシンボル中之島の二つが大阪の都市骨格になっている為、それをシンボル空間として整備していきながら活動していく</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■「活力と風格あるビジネス街」の維持、発展を目標とする諸活動を行う。具体的には、会員により御堂筋の課題や問題点を抽出し、その改善策を検討し、その上で協調すると効果のある活動を、できるところから進める。 ■3つの活動からスタートし、まちの状況にあわせて柔軟に考え活動する。(活動01:私達のまち“御堂筋”について考え、まちの問題点の把握と改善策を検討し、意見を発信する。また会員間および本会と市、経済団体等とのまちづくりに関する情報の交換、協力を行う。活動02:御堂筋がより魅力的なまちとして発展するよう、まちの将来像に沿ったプロモーション活動を行う。活動03:御堂筋の景観や歩行者空間のあり方、緑化など都市環境に関する事項について検討し、活動する。) ■「御堂筋スタイル創生」提言 ■「御堂筋の新しい規制のあり方」提案 ■「緑陰とにぎわいの街路づくり」提言 ■まちづくりシンポジウム開催 ■各種イベント(御堂筋GALLERY、彫刻コンテスト、彫刻写真展、彫刻清掃、まちかどコンサート、ポイントラリー等) ■御堂筋平野町街園整備</p>	<p>【取り組みの推進体制】 ■会の設立が2001年12月。会員は土佐堀～難波神社のエリアで地権者33社、沿道以外で関経連と都市機構も特別会員として入っている。 ■活動資金として関経連から補助金を受けている。</p>

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等		
【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 せんばGENKIの会</p> <p>【活動目標】 ■「大阪の中心である船場がGENKIになると、大阪も変わる。船場を、自分たちの手で元気に満ち魅力溢れる街にしよう!」と、船場で活動しているさまざまなグループが集まる。 ■ネットワーク:それぞれの活動グループの自主・独立した活動を尊重しつつ、その活動を相互に理解・支援し、船場再生の夢を共有する。 ■プロモーション:船場の魅力・元気を総合的に情報発信する。 ■プロデュース:船場のまちの元気力アップにつながる企画を提案し、相互理解の元にこれを実行する。</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■せんばGENKIまつり ■船場フォーラム ■上方文化を遊ぶ ■淀屋サミット</p> <p>【今後の実施事業】 ■せんばGENKIまつり開催 ■せんば「まちづくりビジョン」作成</p>	<p>【取り組みの推進体制】</p>

大阪市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	御堂筋	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等


【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 NPO法人長堀21世紀計画の会</p> <p>【活動目標】 <ul style="list-style-type: none"> ■行政との連携。行政と共に大阪再生の道を拓いていく。そのために御堂筋再生委員会、オープンフェスタ委員会の活動を押し進める。 ■このまちをどうしたいのか、我々に何ができるのか、をしっかりと検証する。街づくり委員会、自転車問題対策委員会を中心に、具体的に活動する。 ■活動の原動力である会の活性化。環境美化委員会、会員交流委員会、クリスマスイベント委員会を盛り上げ、地域のニーズを掘り起こす。 </p>	<p>【実施事業・取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ■各種提言、制定、策定 <ul style="list-style-type: none"> ・御堂筋『未知の駅』構想 ・御堂筋『みち』の再生計画 ・「まちづくりビジョン『NAGAHORI-MALL21』 ・長堀・心齋橋集客特区構想 ・おしゃれな大人の散歩まち 街づくり憲章 ・御堂筋地域(長堀・心齋橋・南船場)街づくり実施計画 ■「長堀通り自転車対策実証実験」実施 ■「御堂筋オープンフェスタ(歩行者天国)」参画 ■「長堀・心齋橋ファッションコミュニティー」結成 ■各種イベント開催 <ul style="list-style-type: none"> ・長堀カーニバル、心齋橋ショーウィンドコンテスト、クリスマスハーモニー、アートフリンジフェスティバル、太閤船場茶会、アジアン・アート・フェスティバル 等 ■シンボルロード完成記念碑・朱印船モニュメント『よってこ』寄贈 ■長堀・御堂筋清掃 <p>【今後の実施事業】 <ul style="list-style-type: none"> ■御堂筋再生 <ul style="list-style-type: none"> ・御堂筋の自転車専用道及び未知の駅についての取組み ・中之島・御堂筋 SBJ 連絡協議会の取組み ■自転車問題対策 ■御堂筋オープンフェスタ ■クリスマスイベント ■環境美化 ■まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・芦池小学校跡地活用取組み ・不法駐輪社会実験の分析・取りまとめ ・心齋橋 100 周年記念の取組み </p> </p>	<p>【取り組みの推進体制】 <ul style="list-style-type: none"> ■1982(昭和57)年2月設立、2001(平成13)年11月 NPO法人認可 ■25年前から心齋橋地域が徐々に衰退していくという危機意識から活動を開始 ■この地域を活性化していく手段のひとつとして、長堀通りの地下に現在の長堀鶴見緑地線を引くことを考えた。地下鉄を引くだけでなく、地下と地上のインフラ整備もあわせて行うことが必要であった。街のインフラとしての地下駐車場(1030台で日本最大級)、また地下1階には商店街(クリスタ長堀)を造り、非常に綺麗でポテンシャルの高い高級感の地下街にしたいと考えた。このエリアは昔から大阪の商人達のメッカであったため、それを現代流に再生させるという事を目的に整備を求めた。 <p>【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ■自転車問題 ■地域住民、民間企業の取り組みの強化 ■行政のまちづくりへの協力要請 </p>  </p>

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 ミナミまち育てネットワーク</p> <p>【活動目標】 <ul style="list-style-type: none"> ■大阪の元気を取り戻すために、大阪府、大阪市、関西財界をはじめ地元企業や商店街などの企業・団体を中心に組織。 ■「もっとミナミの風を」のキャンペーンを展開しながらシンポジウムや各種イベント開催を通じ、ミナミの町を活性化、大阪の再生をめざす。 </p>		

大阪市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	御堂筋	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 中之島・御堂筋 S B J 連絡協議会</p> <p>【活動目標】 ■大阪のシンボルロード「御堂筋と水辺空間「中之島」を舞台に、様々な「歴史・文化」遺産を活かして、市民・NPO・企業・行政の連携を図り、美しい景観の形成、集客・交流の場づくりを推進する地域活動。 ■道と川の一体的整備による都市の魅力再生、芸術文化を活かした都心の景観整備等、市民・NPO・企業による沿道や河川沿いの魅力づくり、水都大阪 2009 シンボルイベントとの連携による整備と集客交流の促進。</p>	<p>【今後の実施事業】 ■「車の道から人の道へ」、「情報ステーション『未知の駅』」、「御堂筋彫刻を活かしたプロモーション」 ■アドバイザー派遣制度を活用した地域資源の魅力と課題のまとめ ■自転車走行・駐輪問題への対策検討 ■会員の交流事業 ■イベントの協力</p> 	<p>【取り組みの推進体制】 ■中之島～御堂筋エリアの4団体（中之島エリアは、中之島まちみらい協議会と京阪八軒家、御堂筋エリアは御堂筋まちづくりネットワークと長堀 21 世紀計画の会）と大阪国道事務所、大阪市建設局に入ってもらい、毎年国交省から推進業務として支援してもらっている。 ■まちづくり検討会を年 2～3 回開催。 ■部会が 2 つ。プロモーション部会は、賑わいを作っていこうという事で、主にイベント中心。イベント実行委員会が春と秋に御堂筋スプリングギャラリー、オータムギャラリーとしてコンサートやセミナー、講演会をして賑わいづくりの活動をしている。都市環境部会は、地権者として国交省や大阪市へ提言活動。御堂筋の緩速車線を歩行者空間にしていけないか、沿道の建物の高さ規制緩和、国交省のボランティアサポートプログラム（平野町街園）など。彫刻横のフラワーポットが、市の管理が行き届かず枯れていたものを、市と協議して自主的に管理をしている。 ■活動資金は、各社からの会費 15 万円</p> <p>【課題】 ■関係機関との絆を深め、一体となってまちづくりを遂行できるような体制をつくる ■イベント会員を増やし活動の輪を広げる ■PR 活動の展開 ■民間活力による様々なネットワークを強化する</p>

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 心齋橋石橋 100 周年イベント実行委員会</p> <p>【活動目標】 ■2008 年は心齋橋の石橋が完成して 100 周年、さらに 13 年後、心齋橋は架橋 400 周年を迎える。永きにわたり、多くの伝統文化、生活文化を生み育てた心齋橋は 1962 年に長堀川が埋立てられた後も、歩道橋として現在のモニュメントに姿を変え、人々に愛され続けている。石橋 100 周年の節目に心齋橋カルチャープロジェクトを立ち上げ、架橋 400 周年に向け、まちと文化を生む様々な活動に取り組む。</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■10 万人が見上げる「心齋橋空中画廊」心齋橋・石橋 100 周年記念大賞、記念式典、後援企画「ミナミ花舞台」</p>	

資源を活かした地域づくりへの取り組み状況等

【活動団体名称】【活動目標】	【実施事業・取り組み】【今後の実施事業】	【取り組みの推進体制】【課題】
<p>【活動団体名称】 淀屋橋ウエスト</p> <p>【活動目標】 ■本店機能の東京移転や合併、支店の統廃合などで空室率が上がり、夜間や休日は人通りも少なくなっている淀屋橋南西部の活性化に取り組む。 ■郊外化が進む中で、「働くこと」と「生活を楽しむこと」は切り離して考えられがちであったが、これからは都市の良質なストックを生かし、住・商・働が混在する多様性のあるまちづくりを目指す</p>	<p>【実施事業・取り組み】 ■土地の持つ歴史や空気感を生かすため、大正・昭和時代の建物の風格を残したコンバージョンを中心に開発を展開中。</p> <p>【今後の実施事業】 ■画廊・アトリエ、ジャズバーといった文化を楽しめる場や、ホテル・マンションなどの居住空間の展開。</p>	<p>■平成 15 年 5 月に商業施設の開発や地域活性化事業をプロデュースしている澤田充氏が、大阪市のビジネス街の中心地である淀屋橋の南西部一帯を「淀屋橋ウエスト」と命名し、エリアのブランド開発に乗り出した。 ■梅田のイーマビルを成功させた街づくりコンサルタント会社に住友商事や大阪ガスが協力して名づけられた「淀屋橋 WEST プロジェクト」。</p>

大阪市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	御堂筋	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク
								日本の道 100 選、風景街道(中之島・大川・御堂筋回廊)、大阪市有形文化財(淀屋橋・大江橋)、大阪市指定景観形成物(淀屋橋)、大阪市指定名勝(イチョウ並木)

その他 地域づくりの取り組み活動エリア

【御堂筋の有効活用方策】

- 大阪にも「はとバス」を運行し大阪の文化スポット巡りをするなども面白い。
- 着地型の観光ニーズが増加し、食べ物や産業、ITを絡めながらの観光が求められるようになってきていることから、御堂筋に、音声案内付き 100 円バスを走らせれば、観光客も自由に動け、喜ばれるのではないかな。
- 御堂筋の魅力を活かしていくためには、路地の魅力を作るべきである。メインは立派な道路であり映えるため、まわりに脇役を考えていかないと面白くない。シャンゼリゼや御堂筋は産業道路であり、ドイツフランクフルト・ケニカリー（王様の道路という意味）やベルリンは生活道路である。50m道路でほとんど車が通らず人や公共バスくらいしか通らない所もある。産業道路として発展してきた御堂筋が生活道路とどう関係していけるのかを考えなければいけない。
- 人間中心の道路という事で日常のコミュニティが形成されるような状況を作るべきで、道路の活用法を積極的に展開するべき時である。人口も減りだし不景気により車も減っていくと考えられ、今後の道路の使い方が国の盛衰に関わってくるのではないかな。
- 丸の内でも NPO が活躍しているが、古いビルを残す為に容積率 2000% のところで、800% の容積のビルを残す為に、あとの 1200% を売ることが出来る仕組みとしている。御堂筋でも古いビルを残せばメリットがあるという事を導入するべき。
- エリアテーマを設けて、エリア毎に特区化し、エリアテーマに沿った活動や街並みを形成するために、例えば非課税化や固定資産税や事業税の優遇などを導入すべきである。
- 公開空地の活用が必要である。
- オープンカフェは、1 台 1500 円/日程度の道路使用料が発生するが、出した日のみ徴収（税金などで）するような仕組みが必要。
- 絶対残さなくてはならないものは銀杏並木である。樹齢のある銀杏並木が四季折々で人の心に潤いを与えてくれる。銀杏を使い料理大会をするなどの活用方策の申し出等もある。
- 御堂筋を特殊なエリアということ言えば、以前ルイ・ヴィトンから、店の前の歩道をルールに則った上でデザインさせて欲しいという話があった。ファサードが出せるようにできる等の上品な雰囲気を作ることによって、御堂筋のポテンシャルが上がり、世界中どこにもなく非常におもしろい取り組みになるのではないかなのことがあった。
- 最低限の条件を更にブラッシュアップしながら、ハードとソフトの展開、歩道と自転車に分ける、沿道の企業が商売をしやすいうように誘導する等の工夫で、御堂筋のポテンシャルは上がるのではないかな。
- 大阪の持っているものは何かを紹介するために、ハードとしての御堂筋であり、そこにソフト施策をプラスして大阪をアピールすることも大切。
- 大阪の良さは中小企業の技術力（東大阪）だとよく言うが、その技術力を御堂筋で表現できるような何かはないかな。
- 御堂筋は歩道空間を広げ、その中にたまり空間を設けて、色々な仕掛けができるようにしたい。モニュメントが設置されているように、東大阪のテクノロジーを表現する何かを設置し、企業の宣伝効果にもなるようにするなどの取り組みが良いのではないかな。また、夜だけ規制して食べ物を出すなどの取り組みも考えられる。
- 広告やバナーを活用し、その収益をまちづくりや自転車対策に当てると良いのではないかな。

【知名度向上に向けたアイデア】

- アジアでシャンゼリゼに匹敵するようなモデルストリートとして御堂筋を PR していくことが大切。
- 銀杏並木が 4.2km も連なり、スーパーブランドメガショップが集中（58 軒）しているのは世界でも珍しいということをもっと PR していく必要がある。
- スーパーブランド社長達が口を揃えてこう言う。「こんな素晴らしい通りは世界中にない。日本人はその価値をわかっていない。道路の風格（樹齢 50 年～100 年の銀杏並木など）が非常に高い。なぜ、ブラッシュアップして世界へ売らないのか。御堂筋自体がブランドになるのは充分可能である。」
- 御堂筋の南御堂・北御堂や神社など、歴史の継承として残すべきであり、有名建築物なども、残してメリットがあるようなものは残していくべきである。
- フロリダ州の観光課が USJ に来た際、フロリダは夏になると暑くて人が逃げ、他の人が来て観光地になり、その為税金が安いと言っていた。ヒューストンには、IT 戦略のノウハウを持った人が多数おり、フロリダの街づくりの中に IT のアイデアを取り入れている。遊園地でも普通の遊ぶ人と企業用の遊園地がある。宣伝する為にフロリダ州は税金から相当な額を使う。大阪も観光地として外に出てもっとお金を使わなければいけない。
- 有名であると思わずに知られていないという前提で PR していかなければならない。
- ヨーロッパの人に言わせれば、道路としての評価は銀座より遥かに御堂筋の方が高い。アジア全体のマーケットをうまく取り込むことができれば、賑わいの面でも銀座と勝負になるのではないかな。そのためには、銀座とは違うので特区化が必要である。
- チャイナタウンのない所は大都会ではない。大阪にアジアワールドを展開して、アジアの食べ物や雑貨などを売るのはどうか。安全で楽しめるように地元の人も考え、警備隊を作ったりして、治安維持にも努めるべきであろう。

御堂筋まちづくりネットワーク

設立：2001年12月
会員数：33 (2008年3月現在)

目標：大阪の「顔」である御堂筋が「活力と風格あるビジネス街」として維持・発展することを目指す。

主な活動：春、夏に活性化イベント「御堂筋ギャラリー」を開催

御堂筋ギャラリー
～まちかどコンサート～
御堂筋まちづくりネットワークが春と秋に開催する活性化イベント「御堂筋SPRING GALLERY」と「御堂筋AUTUMN GALLERY」、毎月、まちかどコンサートや聖誕飾り、御堂筋散歩見物等、会期中沿道で華やかと賑わいをもたらすイベントが開催され、御堂筋の風物詩となっている。

御堂筋平野町街園
平野町3丁交差点の歩道にある植込み、2004年から国土交通省ボランティアサポートプログラムの活用を受け市民連携して植込み再生プロジェクトに取り組み、行き交う人々に一時の安らぎと潤いを与えている。

御堂筋彫刻ストリート
アメニティ豊かな芸術・文化軸として世界に誇るストリートとするため、1992年、大塚市の彫刻「御堂筋」企業との密接により、人間関係をテーマとした「人体」をモチーフとする彫刻が設置された。翌年(2003年4月)、土佐堀通りから長堀通りまでの間に27体の彫刻がある。

御堂筋彫刻一斉清掃
御堂筋まちづくりネットワークが取り組む御堂筋彫刻を活用した活性化イベントの一環。沿道企業からなる会員が参加し、御堂筋彫刻やその周辺の清掃、植込みの固定などに2005年から取り組んでいる。

NPO法人 長堀21世紀計画の会

設立：1982年2月
会員数：158 (2008年3月現在)

スローガン：滞在・回遊・交流できる「おしゃべりな大人の散歩まち」

御堂筋オープンフェスタ
社会実験から始まり、5年目となる賑わいづくりのイベント。御堂筋の新橋交差点(長堀通り)から新橋交差点(千日前通り)までの区間の50メートルを本線車道を通り止めにし歩行者天国にして行われる。観覧できない区間から見る御堂筋は新鮮。

御堂筋ブランドストリート
新橋交差点を中心に南北へ海外一流ブランドの旗艦店が立ち並んでいる。アジアターゲットとするブランドショップ等が美しいイチョウ並木と御堂筋の風格を詳細に演出させている。

清掃活動
NPO法人長堀21世紀計画の会が取り組む地域の美化清掃活動。毎月2回会員の参加により定期的に行われている。

クリスタ長堀
長堀通りの地下街。四つ橋から堺まで全長約730mあり、延面積日本一(約81,765㎡)とされる。

大阪市 (大阪府)	ほんまもん資源	資源分類						指定・選定・認定等
	御堂筋	農林水産	産業技術	歴史	伝統文化	芸能芸術	自然環境	ランドマーク

地域づくり取り組み組織・団体等の参考データ

名称	構成員(従業員)等人数	創業(設立)年	連絡先・HPアドレス等
御堂筋まちづくりネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ■会長: ■事務局: 榊竹中工務店 ■会員数: 会員…地元企業等 31 特別会員…地元団体 2 	<ul style="list-style-type: none"> ■2001(平成 13)年 12 月 	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪市中央区本町 4 丁目 1-13 榊竹中工務店内 ■TEL: 06-6263-7541 ■FAX: 06-6271-0392 ■http://www.midosuji.biz/index.html ■E-mail info@midosuji.biz
せんばGENKIの会	<ul style="list-style-type: none"> ■代表世話人: 辰野元彦 ■事務局: ■会員数: 23 グループ(2008 年 5 月現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ■2004(平成 16)年 9 月 	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪市中央区本町 3 丁目 5 番 2 号 辰野(株)内 ■TEL: 06-6263-6583 ■FAX: 06-6263-7471 ■http://www.semiba-genki.net/ ■E-mail info@semiba-genki.net
NPO法人長堀21世紀計画の会	<ul style="list-style-type: none"> ■理事長: 吉田正雄 ■事務局長: 藤本洋一 ■副理事長: 森浦徹、春木洋次 ■専務理事: 山内一郎 ■会員数: 153 会員(2007 年 12 月現在) 	<ul style="list-style-type: none"> ■1981(昭和 56)年 9 月 準備室 ■1982(昭和 57)年 2 月 設立 ■2001(平成 13)年 11 月 NPO法人認可 	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪市中央区南船場 4-4-10 (辰野新橋ビル) 株大丸本社 3 階 ■TEL: 06-6241-0505 ■FAX: 06-6241-0555 ■http://www.nagahori21.or.jp/ ■E-mail npong21@atlas.plala.or.jp
ミナミまち育てネットワーク (※NPO 法人ミナミまちづくりフォーラムとミナミ活性化委員会が一体化)	<ul style="list-style-type: none"> ■名誉会長: 堀井良殿(大阪 21 世紀協会理事長) ■会長: 山中諄(南海電気鉄道会長兼 CEO) ■事務局: ■会員数: 企業や商店街、メディア、行政など 117 の団体・個人 	<ul style="list-style-type: none"> ■2008(平成 20)年 12 月 	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪市 ■TEL: ■FAX: ■http://www.minami-kasseika.com/ ■E-mail
中之島・御堂筋 S B J 連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■地域まちづくり組織 4 団体、道路管理者行政 2 団体 	<ul style="list-style-type: none"> ■2006(平成 18)年 11 月 	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪市中央区本町 4 丁目 1-13 榊竹中工務店内 ■TEL: 06-6263-7541 ■FAX: 06-6271-0392
心齋橋石橋 100 周年イベント実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■審査員: 橋爪紳也、北谷しげひさ、春木洋次、伊達徹 他 ■事務局: 心齋橋筋商店街振興組合 	<ul style="list-style-type: none"> ■2008(平成 20)年 	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪市中央区心齋橋 2 丁目 1-24 松原ビル 3 階 心齋橋筋商店街振興組合 ■TEL: 06-6211-1114(大代表) ■FAX: ■http://www.shinsaibashi.or.jp/ishibashi100/ ■E-mail info@shinsaibashi.or.jp